

# 豊橋市におけるハクビシンの分布状況

安井謙介\*

## Distribution of masked palm civet (*Paguma larvata*) in Toyohashi City, Aichi Prefecture, Japan

Kensuke Yasui\*

### はじめに

ハクビシン *Paguma larvata* は東南アジアを中心に、中国、台湾に分布している食肉目ジャコウネコ科の中型哺乳類である(第1図)。夜行性の樹上生活が得意な動物で、食性は非常に広く、果実、昆虫、軟体動物、カエルやネズミといった小型の脊椎動物などを食べる(阿部ほか, 1994; 鳥居, 1996, 2002)。特に果実を好んで食べるため、果樹園等を荒らすことも多く、1994年から狩猟鳥獣に指定され駆除されている(赤座・南部, 1998; 武田・愛甲, 1999)。

我国で最初の標本を伴う確実なハクビシンの報告は、1943年に静岡県浜名郡知波田村(現・湖西市知

波田)で捕獲されたものである(那波, 1965)。現在、ハクビシンは青森県及び岩手県を除いた福井県以东の本州東半分と四国4県で確認されているが(鳥居, 1996)、本邦のハクビシンは外来種の可能性が高いと考えられている(小原, 1972; 中村ほか, 1989; 阿部ほか, 1994; 鳥居, 1996, 2002など)。しかし、いつ日本に持ち込まれたかについては、不確実ながら江戸時代に持ち込まれた記録があることや、明治時代から捕獲されていたとの説もあり真相は不明である(今泉, 1960; 鳥居, 2002)。

愛知県下では1954年に東栄町で捕獲されたものが最初の記録とされている(原田, 1967)。その後、三河山地を中心に生息が確認されており、豊橋市では1980年に関屋町で保護された個体が初の記録とされている(宮尾ほか, 1984)。近年、武田・愛甲(1999)や神戸(2002)により、北東部の石巻地区を中心とした分布の報告がなされている。また、本市でも近年多くの個体が有害駆除の対象として捕獲されている。

本稿では、豊橋市自然史博物館に持ち込まれ収蔵されている標本と、豊橋総合動植物公園に持ち込まれ保護された記録を記し、豊橋市内における本種の分布状況を示す。

### 調査方法

ハクビシンの豊橋市内での分布状況の確認には、1) 1988年の開館以来豊橋市自然史博物館に持ち込まれた収蔵標本、2) 1996年から2001年にかけて豊橋総合動植物公園に持ち込まれ保護されたもの、3) 2002



第1図. ハクビシン.

豊橋市自然史博物館に展示中の剥製標本.

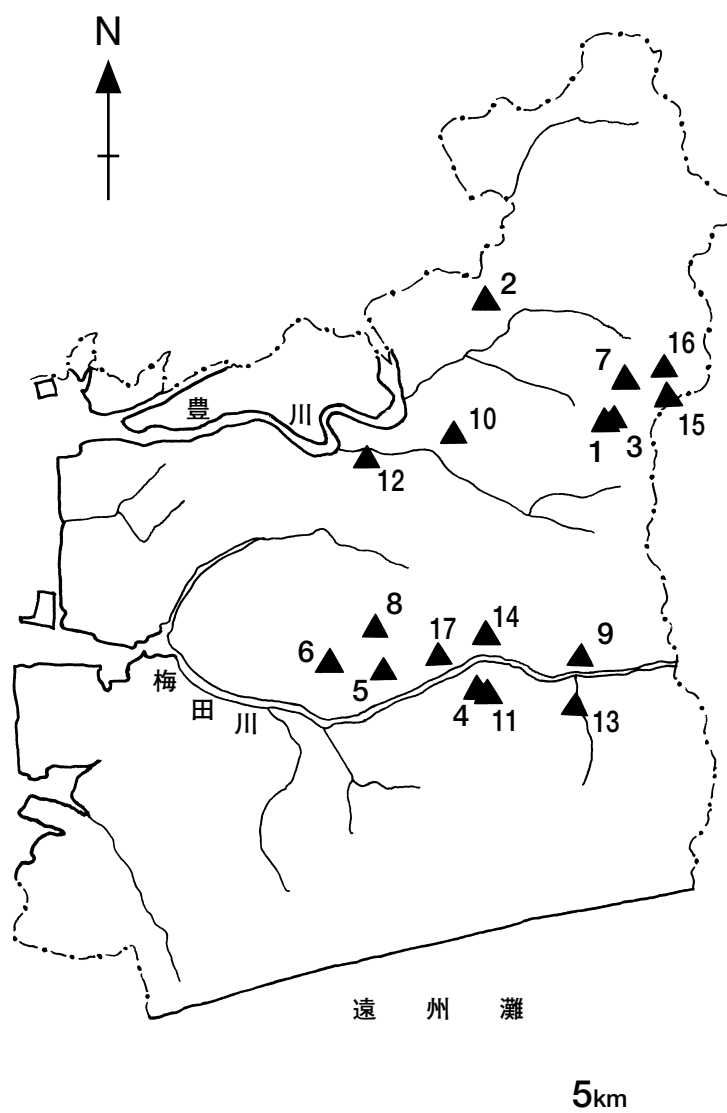
\* 豊橋市自然史博物館. Toyohashi Museum of Natural History. 1-238 Oana, Oiwa-cho, Toyohashi 441-3147, Japan.

原稿受付 2003年2月21日. Manuscript received Feb. 21, 2003.

原稿受理 2003年2月28日. Manuscript accepted Feb. 28, 2003.

キーワード: ハクビシン, 外来種, 豊橋市, 愛知県, 分布.

Key words: masked palm civet, *Paguma larvata*, alien species, Toyohashi City, Aichi Prefecture, distribution.



第2図. 豊橋市内におけるハクビシンの新たな確認地点. 図中の番号は第1表と対応.

年に筆者を含む豊橋市自然史博物館職員が個体またはその痕跡を目撃したものを示した。

### 調査結果及び考察

今回の調査により、新たに計17地点でハクビシンが確認された。これら確認地点を第2図及び第1表に示した。

これまで豊橋市内において、本種は主に北東部の石巻地区を中心に分布が確認されており（武田・愛甲, 1999; 神戸, 2002）、本調査でもこの地域での確認情報が多く得られた。一方、これまでわずかな報告のみであった平野部での確認情報が多く得られたことは、本種がその分布域を広げつつあることを示唆している。

新たに確認された地点は、石巻地区から連なる弓張山地に端を発する河川の流域周辺に集中している。本種は河川敷を移動ルートや生息場所として利用することがあるとされている（赤座・南部, 1998; 樺澤, 1998）。また、ハクビシンの行動範囲は相当広く、少なくとも10km<sup>2</sup>以上と推測されている（鳥居, 1996）。これらのことから、河川の流域で確認されたハクビシンは、河川敷を生息場所として利用しているものなのか、流域を行動範囲とする弓張山地に生息する個体群に属するものなのかは特定できない。しかしながら、弓張山地以外にこれら河川へのハクビシンの供給源がないことから、河川の流域周辺で発見された個体は弓張山地に生息していた個体群から派生したものの可能性が強いと考えられる。従って、弓張山地にハクビシ

第1表. 豊橋市内におけるハクビシンの新たな確認地点.

No.	登録番号	性別	確認場所	確認年月日	備考
1	TMNH-MA-53	不明	石巻町字三口, 三ッ口池	1992年 8月 30日	毛皮・頭骨標本が自然史博物館に収蔵
2	TMNH-MA-54	不明	石巻本町字大清水	1992年 8月 19日	毛皮標本が自然史博物館に収蔵
3	TMNH-MA-72	♀	石巻町字三口, 三ッ口池	1992年 8月 30日	剥製・頭骨標本が自然史博物館に収蔵
4	TMNH-MA-115	♂	大岩町字大穴, 豊橋総合動植物公園中央門前	2001年 6月 12日	毛皮・頭骨標本が自然史博物館に収蔵
5	TMNH-MA-116	♂	浜道町, 県道31号線沿い	2002年 10月 13日	自然史博物館で冷凍保管中
6		不明	曙町字松並	1996年 1月 28日	総合動植物公園が保護
7		不明	石巻町字南山, 石巻山	1999年 4月 6日	総合動植物公園が保護
8		不明	佐藤町	1999年 4月 9日	総合動植物公園が保護
9		不明	二川町字東町	1999年 7月 22日	総合動植物公園が保護
10		不明	西小鷹野	1999年 11月 9日	総合動植物公園が保護
11		♂	大岩町字大穴, 豊橋総合動植物公園内	2000年 5月 11日	総合動植物公園が保護
12		不明	飽海町	2001年 6月 4日	総合動植物公園が保護
13		♀	二川町字東向山	2001年 10月 20日	総合動植物公園が保護
14		♂	大岩町字火打坂	2001年 10月 26日	総合動植物公園が保護
15		不明	石巻町字三口, 豊橋自然歩道	2002年 6月 4日	糞を確認
16		不明	嵩山町字尾曾根	2002年 6月 21日	食痕を確認 <sup>*</sup>
17		不明	藤並町字藤並	2002年 11月 19日	骸死体を確認

\* 摂餌中の個体が確認されている。

ンが生息し続ける限り、弓張山地から流れ出る河川沿いに今後も本種が確認され得ると推測される。

豊橋市内の河川流域で見られるものと弓張山地に生息しているものとの関係を明確にすることは、未だ不明な点が多いとされているハクビシンの行動範囲の解明に役立つと考えられる。今後、更なる豊橋市内におけるハクビシンの確認情報の蓄積に努めていきたい。

## 謝 辞

本稿を記すにあたり、豊橋総合動植物公園の本島雅昭氏には、豊橋総合動植物公園に持ち込まれ保護されたハクビシンに関する記録の使用を快く許可していただいた。また、愛知県東三河事務所環境保全課の田中泰之氏には豊橋市内で駆除されたハクビシンに関する情報をいただいた。以上の方々に厚く御礼申し上げます。

## 引用文献

- 阿部 永・石井信夫・金子之史・前田喜四郎・三浦慎吾・米田政明, 1994. 日本の哺乳類. 東海大学出版会, 東京, 195p.
- 赤座久明・南部久男, 1998. 富山県におけるハクビシンの生息状況. 富山市科学文化センター研究報告, (21): 119-126.
- 原田猪津夫, 1967. 奥三河のほ乳動物. 鳳来寺山紀要, (9): 18-29.
- 今泉吉典, 1960. 原色日本哺乳類図鑑. 保育社, 大阪, 196p.
- 権澤 誠, 1998. 群馬県におけるハクビシンの分布状況. 群馬県立自然史博物館研究報告, (2): 119-122.
- 神戸 敦, 2002. 野生動物(哺乳類)と交通事故. 蟲譜,

41(1): 5-6.

- 宮尾嶽雄・花村 肇・高田靖司・酒井英一, 1984. 哺乳類. 佐藤正孝・安藤 尚(編), 愛知の動物, 愛知県郷土資料刊行会, 名古屋, 286-325.
- 那波昭義, 1965. 静岡県下のハクビシンについて. 哺乳動物学雑誌, 2: 99-105.
- 中村一恵・石原龍雄・坂本堅五・山口佳秀, 1989. 神奈川県におけるハクビシンの生息状況と同種の日本における由来について. 神奈川自然誌資料, (10): 33-41.
- 小原秀雄, 1972. 続日本野生動物記. 中央公論社, 東京, 188p.
- 武田芳男・愛甲重成, 1999. 哺乳類. 豊橋市自然環境保全基礎調査報告書, 豊橋市, 420-436.
- 鳥居春己, 1996. ハクビシン. 日高敏隆(監), 日本動物大百科, 平凡社, 東京, 2: 136-137.
- 鳥居春己, 2002. ハクビシン. 日本生態学会(編), 外来種ハンドブック, 地人書館, 東京, 74.